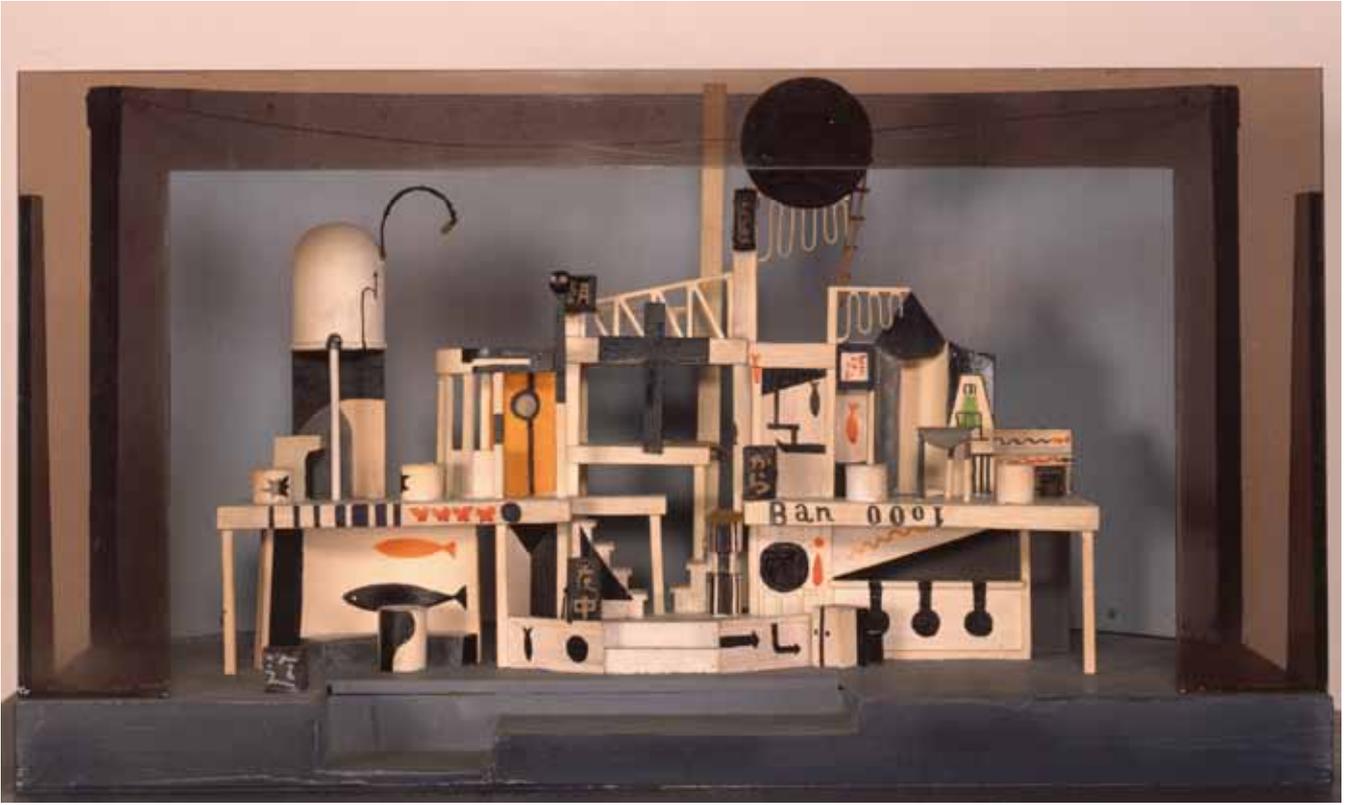


# すべての僕が沸騰する 村山知義の宇宙

MURAYAMA TOMOYOSHI GET ALL OF ME SEETHING



築地小劇場第49回公演『朝から夜中まで』（1926年再演）舞台装置模型 ギャラリー TOM

20世紀の初めに生を享け、ベルリンでダダや構成主義などの新興芸術を吸収して1923年に帰国、まもなく「マヴォ(MAVO)」や「三科」といったグループの活動を通じて大正末期から昭和初期にかけて日本の近代美術に決定的な影響を与えた村山知義(1901-1977)。物体を貼り込んだ造形作品や、トランスジェンダーなダンスパフォーマンスなど、ジャンルを横断した目覚ましい活動は、同時代に多くの共感者を生み出しました。

本展は、1920-30年代に展開された美術の仕事を中心に、その時代背景を伝える国内外の作品・資料を参照しながら、村山知義の宇宙的な多様性を紹介する、初めての大規模な個展です。

会期：2012年2月11日[土・祝] → 3月25日[日]

神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1 / Tel.046-875-2800

開館時間：午前9時30分～午後5時 [入館は午後4時30分まで]

休館日：月曜日

観覧料：一般 1,000 [900] 円 / 20歳未満・学生 850 [750] 円 / 65歳以上 500円 /

高校生 100円 ※ [ ] 内は20名以上の団体料金です。中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。

[ファミリー・コミュニケーションの日] 毎月第1日曜日(今回は3月4日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

主催：神奈川県立近代美術館 / 読売新聞社 / 美術館連絡協議会

協賛：ライオン / 清水建設 / 大日本印刷 / 損保ジャパン / 日本テレビ放送網

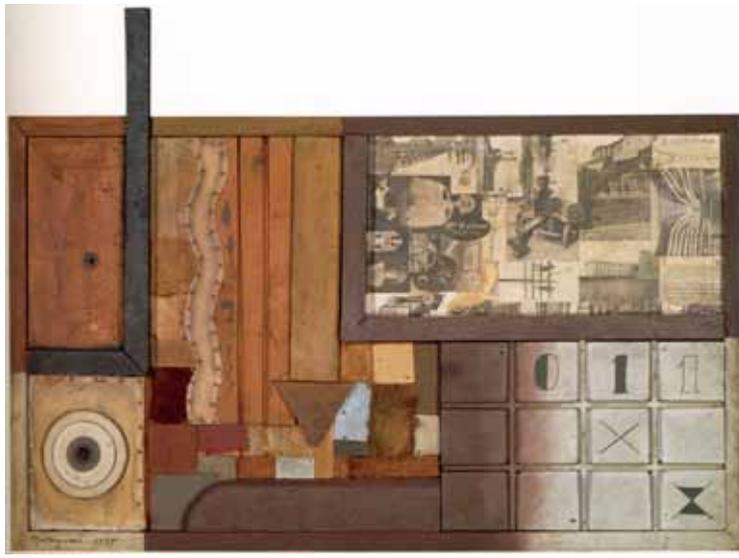
助成：公益信託タカシマヤ文化基金 / 公益財団法人 野村財団



「リボンときつねとこむまりと月」原画(部分)  
『子供之友』1926年7月号 婦人之友社



《少女エルズベットの像》1922年  
油彩、カンヴァス 個人蔵



《コンストルクチオン》1925年 油彩、紙、木、布、金属、皮 東京国立近代美術館



村山知義と篤子 赤坂・葵館ロビーで  
1924年 写真

“すべての僕の情熱と思索と小唄と哲学と絶望と病気とは  
表現を求めようとして具象されようとして沸騰する——”

村山知義「過ぎゆく表現派」『中央美術』1925年4月

油彩、コラージュ、版画等の希少な現存作品を一堂に集めるほか、機関誌『マヴォ』、自ら設計し新興芸術の拠点となった自邸兼アトリエ「三角の家」をはじめとする建築と室内装飾、築地小劇場での演劇『朝から夜中まで』に代表される舞台美術、ポスターデザインや装幀といったグラフィックなど、その多彩な仕事の全貌を記録資料とともに紹介。村山知義がドイツ滞在時に大きな影響を受けたカンディンスキーやクレー、活動を共にした和達知男や永野芳光の作品も展示します。

さらに、『コードモノクニ』などの児童雑誌を中心に発表された、子どものためのイラストレーションの仕事も多数紹介。妻・篤子（かずこ／1903-1946）の文章をはじめとする数多くの児童文学に添えられた美しい原画は、10代から晩年にいたるまで挿絵作家「Tom」として活躍し、いまなお瑞々しい魅力を放ち続ける村山知義のもうひとつの面をみせてくれます。

関連企画として、パフォーマンスの一夜「新・劇場の三科」、講演会、シンポジウムなどを開催。村山知義が夢みた全方位的な創造力の開放、その沸騰の軌跡を検証します。



[左]「劇場の三科／三科会員展覧会」ポスター 1925年  
[右] 村山知義著『構成派研究』表紙 1926年



《サディスティッシュな空間》1922/23年  
油彩、カンヴァス 京都国立近代美術館



《フムメルのワルツを踊つてゐる私》  
1923年 写真



「こくまさんの家族」原画（部分）  
（『子供之友』1927年1月号）婦人之友社

【関連企画】

◆オープニング・レクチャー「村山知義への招待」

講師：池内紀氏（独文学者・エッセイスト）  
日時：2012年2月11日〔土・祝〕午後1時～2時30分  
会場：神奈川県立近代美術館 葉山 講堂  
要申込〔定員70名・先着順〕、参加無料

◆パフォーマンス・イベント「新・劇場の三科 1925→2012」

出演〔予定〕：酒井幸菜、フォルマント兄弟、巻上公一、やなぎみわ  
日時：2012年3月3日〔土〕午後6時～8時  
会場：神奈川県立近代美術館 葉山 展示室  
有料（別途チケットの購入が必要です。）

◆担当学芸員によるギャラリートーク

2012年2月12日〔日〕・3月4日〔日〕 各回午後3時～4時  
申込不要、参加無料（ただし「村山知義の宇宙」展の観覧券が必要です。）

※関連企画の詳細や申込方法は当館ホームページをご覧ください。

